武蔵国古跡志

九

内閣文庫
一一三三一
九冊
一七四函
内閣文庫

大政官文庫
和書門
一一三三一
二一一
九冊

内閣文庫
番號 和 11331
冊數 9 (9)
函號 174 10

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫
昌平坂學問所
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

今来池　本ハ六条ニ而皇居と偏て元ハ土御門殿之三十年り
中嶋小松ある寺有りて出入之跡長沙法　妻恥従り嫁也西の寺と
在ハ天池之側ニ日蓮之人ニ縁も無てひかし　杜中古松一株有り
中堂ハ八幡宮　中堂也と書を改て今別当日蓮宗として八幡山
経蓮寺としれ八幡宮の社を鉄井ニ有り同寺細説有之人より寄附致し旧社也
神像ハ源頼信の勧請　寛仁年中当所へ勧請して後ニ移りしと云々
長元三年庚午　叛乱平忠常依て追討之時源頼信朝臣義家従
移しましてより其後六条左京六年　奥州安倍貞任と戦し時ニ遠征
武衛家御造り頼義朝臣の家臣頼義朝臣　八年としてなん

消印
日本政府図書
淺草文庫
明治十三年購求
六三八八

是剣ら於而一七ケ人も此佛作し掛陵てより来りしく足ル所代

累世源家ヲ守護す爰に往生亦邦之修荘厳寺鎌倉寺人々あり

此ハ源一ノ山ハ別ニ八幡ニ作
源家知屋之建之
代々此佛を称す佛に千丈と氏とし之由香

鋳せり 寛元元年而後鎌倉ニ於て日蓮大士ハ此化仏と被遊て

精舎より来りし此神像を親しく蒙て霊夢と感せしめの後

文永年中日蓮大士霊像して法華経を法体として一社を勧請し

奉り自記として後て當山開有乃男法以外ニ来ル後以外菰沢
相学し来る

九老作之一人奥し或ハ鉄身所国家と云人正中元年甲子二月廿九日
化寺刻南方ニ宗社として崇候 かきたり

当寺類朝ゟ住職此 御寄進此所以八幡宮之神像と
御座候し所ニ境内 荘厳院開法ハ此

此も同じ神像と鋳井鋳同し
作居之像ましく先之

慈眼山萬福寺 西村ニあり 曹洞派ニ待来して水前へ速ル

属寺 其目安国院 陀羅尼 一竟ニ在之

此佛ハ南方ニ 年中ニ来村ニ 金銅 送

此寺霊験 其 由緒

此より都ニ 化仏 小田原北条家ニ 大

寺院 当寺

当寶 布袋鞍 此氏不

地蔵 世ニ 此 小僧ニ

[illegible]

橋本氏古像 元徳二年[illegible]長[illegible]

[illegible]文一通 [illegible]

[illegible]八幡宮 [illegible]

橋本氏宅地 同所西[illegible]

[illegible]

風呂寺 筆村[illegible]

[illegible]

大金山光明寺 宗像[illegible]

[illegible]

西山流 浄利[illegible]

[illegible]人才二世[illegible]

[illegible]

[illegible]

願大宝王 弘法大所出[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

額 光明寶林 縁山大僧正滿空筆

功德水 [illegible]

荒塚 [illegible]

觀音堂 [illegible]

建立[illegible]

白川遊[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

光明寺 光明寺[illegible]

[illegible]

[illegible]

彩田大明神社

[illegible]

彩田大明神社[illegible]

[illegible]

蓮樹無量寺

[illegible]

鍬掛樓

[illegible]

[illegible]

南森[illegible]

[illegible]

玉[illegible]大明神彩像

[illegible]

鹿一板

[illegible]

第二西山善恵上人（御諡號）諱ハ證空俗姓ハ源氏下野守之遠流
加州刺史親季之子也（親季ハ又親秀ト改ム／此時親季ハ已ニ出家セリ）治承元年丁酉
十一月九日生まる久我内大臣通親之猶子として十四歳菩提心を
依して故に吉水上人（源空）に謁して許し時十四歳出家して
学す性慶遂にしてのちとし年をへて時に建久九年之春月輪殿下の請に
よりて源空上人選択集を撰しめ給ふ時に其文を書
勤め給ふ所の師之滅後此書之大事あるにつき是より先に
師之伝ふる奥旨又此書之要義意に甚志ある所を知る者は
家之弟子なり一宗信して此書を上人勤めて仰給ふ

古郷拝（新田右京亮…之事に付…／蒙仰候之條…）
新田右京亮源… 一通（書状／有之）
先度如此内書到来候丁寧遍候条御
手紙之趣仍為御感使一通遣候依之御
諸事御下知依面目之至候九州之儀御
懸之儀於涯之為御要候様子細之儀之旨
貴可令得遠路候恐々謹言

十月十一日

波多野… 殿へ

義興判

其余之事前太平記第六巻ニ委しく之を略す

太平記云　新田左兵衛佐義興ハ　義貞ノ次男ニ生レ　[illegible]
武蔵野合戦ニ討勝テ鎌倉ニ来リ　[illegible]　其後越後ニ居住セシ　[illegible]
中ニモ此義興ハ　[illegible]　鎌倉ニ攻入　[illegible]

父義貞戦死之後ハ越後国ニ在しに武蔵下野之山中ニ田舎

志を寄る軍勢ニ主従を迎へられ武蔵野ニ其勢を催せり

然るに此時鎌倉ニ御座ける足利左馬頭基氏の執事畠山入道道誓

大ニ恐れて義興を不意ニ討んと廣く謀を回らして竹沢右京亮を

方便りて義興ニ近付せしむ　竹沢ハ義興を討んとて謀りて

澤ハ竹沢右京亮と義興ニ奉らしむ其後程ニ委

中を見て義興を欺き　すかし奉りて　[illegible]
鎌倉ニ攻入給ハゝ　[illegible]

思はせて迎へ奉りて竹沢偽りて鎌倉を亡さん謀を進らし

義興をすかしまゐらせ義興其言を信し給ひ延文三年十月十日暁

従ふ十三人忍んて鎌倉へ発向し矢口の渡ニ至ル

先て謀て渡守を語らひて渡舟を用意し置けれハ

水中ニ入舟底を穿ちて二ツの穴を塞き其栓を抜けハ

河水滝の如く入て其船沈みけれハ　義興を始め従者皆

河越三郎ヶ囲を出て寄来る兵千余騎を具して大手へ急て向ふ
膝を切て失ける井浜也も討れて自殺し其家世良田右馬助
大将川端兵及ひ世良田名字馬助同彦五郎ハ討死し疵も深ハ
又此五人首を取て自害しける亡ひけるに是れに加へ熊谷甫二郎
市河五郎三人ハ小旗を差りて何かへ山に見えたり数三百騎
ささらかひハ討しけれハ主従十三人此時手負ハ皆討死しけれハ主従十三人ハ此れ
其ハ討死す其後何に兵ハ何にて出したる急く其首級を尋出し
八百兵ハ其氏し陣へ遣し実検入けり其後同十月廿三日
今度帰りし思ひ出し後へ出し出し其書を及ひ矢口に渡りて討

雷鳴しきりに鳴動ありしかは懼れて其を走せしてまかて此座へ入にける
此辺の事しかし将軍足利方の事也
電光の边りて鳴内おきなれハ鐃りて御しけれハ錦の御旗をさゝけて雷
前其光織く綴く錦の白旗甲に結ひ白象毛に立て纏
角く出すれハ忽に兵鞍を並へて遠江守と名乗て嶋をつふし現く
其ハ若やりけるもの七寸計の唐傑と申して討ひて其後より討死す
かくゆかしと射返されけるに遂に倒れ落て同絶しけれハ其を遂
其にて寄せて数く伐りけれハ七日ハ水に溺れけるに生捕とて三郎かる
又星の秋帰山に入て程く後に新田義兵長くゆかりの其討りけり平家

[illegible]

十塚社

同下道を隔て印八幡宮新田大明神と共に新田大明神[illegible]

[illegible]

十塚とハ本説由緒なき事明白なり

井澤西右衛門
同彦右衛門

大塚月清
世良田右馬助

南瀬口八郎
市川五郎

[illegible]

日本武尊の祠　俗に[illegible]社と唱れ伝神と云[illegible]

[illegible]

夫婦岩

[illegible]

古川其師如来堂

古川村より新田明神[illegible]

[illegible]

本堂　本尊薬師如来五尺五寸　左右弥陀釈迦二尊ハ各五尺三寸仮檀

十二神将ハ四天王ノ像も共ニ有り本尊菩薩ノ作也　此外南北ニ各十二ヶ所菩提樹ノ仏舎利を現す

縁起ニ波羅木と云ふ　像数は七しみと云ふ　菩提樹　御堂ニ有る菩提樹二樹は…

杉本霊泉　池水ニ不尽之霊水有り眼疾を患ふ人ニ付霊水とて

西谷堂　十一面観音ノ像也本尊ハ無

千手九面の菩薩、聖徳太子の作也

安置しある也　本尊薬師仏前ニ有

十二神将四天王ノ像も仏前ニ安置す

延喜ノ頃ニテ年不詳当国主ニ

書ニ云ふ八尊も菩薩ノ奏ニ由りて薬師仏の御堂

其後より此菩提樹ニ接して同年ニ秋

本尊造立之事ハ此堂ニ安置し

縁起ニ云ふ

然ニ造立後ハ此地ニ来る

雨ニ無尽と謂ふ如く堂塔破却し本尊ハ菩提樹ノ根下ニ

埋ミ風雨ニ浸されしも其後永禄ノ頃

十有余年ニ一字を営ミ本尊を移しまゐらせ

按ニ武蔵国風土記ニ云…

新編風土記…

大縁山光明寺　三細村ニアリ無檀地ニテ民部卿某ノ会宗也
本尊ハ大日如来恵心僧都ノ作也寺伝ニ弘元年開山剣阿ニシテ
第五ヨリ統上人トト号セリ

大森　縫之浦ノ南不入斗村ノ傍ニアリ小田原北条家ノ所領役帳
瀧浜又三郎ノ役ニ六郷殿此人所領トアリ又井ニテ六郷内大森トアル
則此地ノ事也

鹿嶋明神社　大森村海辺ニアリ此地ノ鎮守神ニシテ別当ハ
真言宗大森寺ト号ス昔ハ此洋ヲ望ミシト云

蒲田梅　蒲田邑ニアリ蒲田ハ和名抄ニ荏原郡蒲田郷トアリ小田原北条家所領役帳ニ加賀守ノ知行トシテ蒲田

此地ノ民家ナト家毎ニ庭後園ニ梅樹ヲ栽テ其実ヲ採テ
都ノ市ニ鬻ク也二月ノ花盛ニハ幽香ヲ探リ遊人多シ

行方弾正忠明遠宅址　六郷八幡宮ノ辺リニアリ此地ノ古園村ト
云フ所ニアリ明遠ノ花園ノ跡也トテ梅樹アリト云ヘリ

性光山妙明寺　蒲田村ニアリ日蓮宗池上本門寺ノ末寺ナリ
文安元年ノ開闢也安房人第二ハ九老僧日傳上人中興ハ日義
上人也寛永十年寂　本寺ハ小田原北条家所領役帳ニ

当家は高階の姓を称すといへども以下深井の条に見ゆ
氏族は親の系図の知らさる処なり　切方弾正忠貞清流

御系はしかしたる家紋は剣那の庵也其先貞清は代々

性名後叙位并頼母方大膳亮の孫十文字に改むと貞清小田原に陣す十八年庚寅

其養子八蔵は前に居住せり貞清の子孫なり後に小田原に出仕して後

此地に来り給ひし時に東西の長城に居る是小田原北条家の小田原民部の家臣

九年武田信玄小田原へ入数十二万騎を率ひ来り小田原城を攻むる時

押寄せ夜中に入りて切方弾正あらためて色々やしきの近辺を

八幡をまもる瑞籬の田鳴之御宮を焼き横田 横山氏の駒井 駒井昌直

後に押来り川筋に出張を焼落しも甲州勢を過ぎて信玄の家川に

宇多源氏の佐々木の支族にして今は橋の漁に近江にて

此寺を追捕し此寺の荘園に入りて夫に従

舟にて浦へ来り船を平氏のかし宗の浦々の船を十余艘を追捕せしめ

蒲田八幡宮　同国下総に住していたりけるに此に候せし小田原北条家文に切方

弾正貞清之に迎へけるが八幡を鎮め奉る上梓の高祖の由来にて記す

按するに三代実録に貞観六年八月十七日庚辰従五位下蒲田神を従五位上に叙すといへるは此社にや

切方山妙善寺　此寺は内外の尊体を安置して日蓮宗にして本寺は本

中原に在る寺にて宗の祖師を日朗聖人の弟子にて大野氏家の先祖菩提所なり

大嶋之叢林下にて十七年の四月に寂すといへり

瑞羽山長照寺　横須賀町ニ在リ日蓮宗之寺ニテ大閤秀吉公
寺ノ供也ト伝ヘシ　少庵　此山是大善寺と号す
六々八幡宮
六々無縁寺ニシテ八幡塚村ニ在リ別当光宗として
八幡山宝珠院是也當寺ト申人　古傳ノ縁起文禄年中ニ大坂ヨリ
國ノ大峯ヲ兼シ　鎌倉ニ入リテ御判ヲ下シ給ヘリ　建年中ニ御判と
記シタリ白縁ヘトナヘリ　御判ニ依テ嫁(?)ノ八幡宮ト称シ候
東礼も六月十五日ニして神輿羽田ノ大師ヘ渡御ニ往ル西村数多
建立ノ時桃林ヲ伐リ出シテ之ヲ作セシ　栗解ヘ辺リ　桃ノ木ハ
塩辺村百姓ニ来リテ年ニ少田原少某家ヘ奉リ桃木之名残ハ桃木町ニ有

八幡塚　南ハ本堂ノ前ニ茶屋在リ八幡ニ在リ　筑土松ニ在リ
古家數多有リ　八幡ノ畑ト云フ　古ヘ松林在リ　昔ハ百姓ノ家ニ在リ
數々ト此ニ　かく　然ト　此ハ
六々渡　八幡塚ノ南ニ在リ此川ハ多摩川ノ下流ニシテ八幡塚ノ
渡シ場ト云フ　昔ハ橋ヲ架セシト云フ　田中坂陽ヘ
ヘナシテ法水ノ果ト深ク　橋ヲ如何ニ　船渡シニ
田中坂陽ニ在リ　是ヨリ水ニ年ヲ経ル　白川ノ
今ニ至テ田中ノ町ト云フ　東海道　此橋ハ長サ百尺ニ
本郷ノ大橋ト云フ江州浜田大納言　因テ吉田ノ大橋ニ在リ

撫て北条家ノ下知状ニ六拾六貫文大森分自山邑村ニ抱之等ニ付ハ六拾貫文ニ而ハ二ヶ所宛致し候由
射ず又六拾貫文円勝田と北條家より知行候事ニ而羽田村ニ六拾六貫文分を三ヶ所ニ割
入不中ニ於て井之郷ニ而吉田新左衛門分六拾六貫文之内新井方より挽取日ニ而知行分六十貫文下給候て大森村
牛久新八七月日ニ下知ありて羽田村之内大森郷新井吉田新左衛門ニ而知行
他ニ出し而ニ有之之大師方より羽田村右之所ニ有之候処也
如くの如く昔ハ六拾貫文ニ放置候処右之通ニ御座候
年々此辺ニ有之候而大師像ニ寄進ニ付 万 遍 林
鎌倉之證文等 其後ニ至りて 大師 此地ニ来り 手ニ甲族之 兵乱 起こりて 殊ニ
深谷氏自己ニ而此辺ニ一族と川崎ニ六拾貫文 返 蓮葉
深谷氏ニ移り川崎ニ然れとも 依而 書付ニ而有之 川崎之 大師 金之丸ニ候
川崎之 左衛門ニ而 此辺ニ 一 流 左衛門ニ而大宮之 羽田村ニ記し有之
鎌倉之 此辺ニ 此辺 迄ハ 其之 由緒 之 通 ニ 記録 有之

要須弁天社　羽田村ニ有

羽田ノ浦と扇ヶ浜
此辺の地を要須と唱へり

別当ハ六拾貫文ニて当村ニ出し山門之 由緒 有之　羽田弁天社

本尊弁天ハ安置し本殿に 此所 要須 弁天 ニ而 則 御座 候

弘法大師の作なりといへり　并ニ霊像昔此辺ニ有る尊像を光明寺ニ

家ニ伝へしよし今ハ依在す　南社の参詣の輩の多き事其の盛なり

不知といへり　寛永八年辛未年七月此辺の地ニ出現せし

玉川大師与弁天ハ玉川ニ有り　別当ハ是より玉川ニ而有之
此辺ニ有る事ハ由緒 知れず

宝也り　其後此ものにして当社之 又南社ニ如意宝珠一顆を安

弁財天ニ由緒ノ尊像有り　此弁天ハ大師

弁剣の地ニ山中ニ大日ノ霊水を掘り　水中一顆の

宝珠と称す　然るに此宝珠玉川ノ流れに浮ひ羽田の辺り

ニ水中宝珠出現せしよし　土人申しつたへ候

ゆへ其後此社を建てし事なり
黒鍬郷八六ヶ村之年
南行する大河 則 ニ而

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六日沙弥[illegible]作[illegible]

川細橋川[illegible]

[illegible]

又九月十九日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杉井金右衛門久
安養寺志摩
長右衛門妻安
半兵衛娘春
小倉文右衛門忠碎
伝保田解久
兼見婿指物
甚兵衛幸宗
以上十七人

武州八王子住
同　南沢村住
同　大沢村住
同　蔵敷住
同　川崎住
同　菱村住
武州平塚住
同　練馬住

大蛇丸伝之右衛門右衛門　庶深　武州大野住
伝之　長右衛門　庶深長男
同　百助　庶年　同　二男
同　七右衛門　庶安　同　金次
同　長右衛門　忠成
同　三郎右衛門　張成　庶深嫡
四郎右衛門　庶貞　武州指扇村住
五郎兵衛清安　庶深次男　江戸赤坂住
藤八郎　紀右衛門　早春

竹野　小右衛門　盛長
同　孫右衛門　敦成
茶会　八左衛門　世次
田中　甚兵衛　広久
朝股　九郎左衛門　輝長
酒井　九二郎　幸依

以上十五人

来賓　稲葉彩田石源氏　迎之上州石源氏
[illegible]　酒井石源氏　[illegible]

其余[illegible]酒井田園[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

地と乗めく孤松しかしまた平[illegible]

[illegible]

[illegible]

中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

氏[illegible]中[illegible]と[illegible]

新田[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]小野郷地頭職長澤四郎八幡殿[illegible]
[illegible]川[illegible]
[illegible]兄川[illegible]梅枝[illegible]元[illegible]二年五月十[illegible]
[illegible]大[illegible]
[illegible]兄[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仁[illegible]
秋田城介[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

神奈川能海氏寄来の拾遺記に左の如き事あり

子安観世音　子安村海辺にあり　[illegible]

[illegible]

勝覚僧正[illegible]

八分の[illegible]

観音堂古像　勝覚僧正一刻の[illegible]

告て曰く観音の[illegible]観音堂形像なり　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廻りて二丁半中り[illegible]

[illegible]

[illegible]

護国山祇福寿寺　東方安村[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神奈川駅

[illegible]

向後神奈川駅と可[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]川　中富村ニ所ニ有リ[illegible]
山海ニ[illegible]ス物ヲ[illegible]ス物ヲ[illegible]
細ク山流ル　小流ル[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

海運　山林海産　海産ハ[illegible]
古義ニ出ル[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

例幣の神社に四[illegible]
源平盛衰記に例幣の神社八幡大菩薩と祝[illegible]
[illegible]流と奉[illegible]祭ひと春す

熱田精進社　神奈川本宿町海老名[illegible]列南金[illegible]
[illegible]
[illegible]

海の橋　本宿西の町と滝の町との[illegible]海老と横さり流の川
[illegible]橋[illegible]と滝川と[illegible]
西と吉原村と[illegible]

橋本宗長　橋本の川源中町中より西の方長谷[illegible]
曹洞の禅宗[illegible]
[illegible]
[illegible]

熊谷橋城ハ　新田義貞の陣所
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

中興[illegible]

臥龍山[illegible]松院　乾徳[illegible]

長澤田[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白山権現　概ね[illegible]

松亀山泉蔵寺　本覚院と号す　概ね今[illegible]町と唱へ[illegible]

[illegible]

本像[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

沙弥作成之解

[illegible]

長目川流之変化

[illegible]

[illegible]

[illegible]

青木山西麓

[illegible]

中荒子切通

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小田原記見元

[illegible]

青木山中荒谷当国下郡野村より蒲沼之谷新田

[illegible]

小机之雲松院ニ屬ス中古之兵燹ニ焼失ス寺蔵ノ文書ニ
拠ルニ南北朝ノ末永徳二年ニ宥剣ト云フ者ノ建立ス其後天文年間
大源ノ末流ニ当ル者ノ住職ス法華経陽廣禅所世ニ伝ル法懐ト称ス
禅風ト称ス其子元徳ノ初慶長門徒ノ為ニ殺害ス 仏殿ノ額ハ中尭禅師ノ書ス
本堂ハ寛政年間ノ再建ニ係ル
本尊ハ釈迦ノ木像ニ相当ス
本堂ハ陽光院 本尊ハ釈迦ノ像ニ当ル 遠州ノ産ニ係ル
曹洞ノ禅院ノ末ニ位特殊中興ノ祖ハ不明ニ属ス
護国山と称ス禅師ノ住所ハ不明ニ属ス
法号ハ不詳ニ属ス

遠海山 国分寺ノ西ニ在リ山中ニ宇ヲ建ル者ニ田原藩人乃ち彼地
移ス[illegible]ノ者ニ[illegible]

仮綱橋現社 秋葉川末町西ノ方ニ在リ山上ニ生ル中尭ニ
一町半南ノ別所ニ在リ寛永年ニ建ル其後
天明十七年ノ仮綱橋現ハ中北御殿ニ
建ル天七ヶ年ニ大ノ仮命ニ出ル
法号ハ不詳ニ属ス 流来ハ不明ニ属ス
後年房総ノ流来ノ時中尭ニ
其後尭ニ[illegible]

[illegible]

神の浦 此地[illegible]長行曲浦[illegible]神[illegible]

[illegible]

[illegible] 同所[illegible]村海[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御乾矢地 芝野田横須賀村[illegible]横須賀[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

内閣文庫
昌平坂學問所
消印
内閣文庫
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan